

学校自己評価システム取組状況調査報告書

平成27年度

県立学校評価委員会

学校名	埼玉県立鴻巣女子高等学校		Aグループ
項目	調査の観点	取組状況に関する所見	
目指す学校像	目指す学校像は、学校の現状、課題等を踏まえて設定されているか。	学校として目指す方向が簡潔に示されている学校像である。やや抽象的な表現となっているので、学校に寄せられる生徒・保護者・地域からの期待に応え、学校の現状や課題などを踏まえた具体的かつ明快な学校像を検討していただきたい。	
重点目標	学校が抱える課題の解決に向け、児童生徒の実態など学校の状況を踏まえて、目標の重点化が図られているか。	取り組むべき課題が示され、日々の教育活動の指針となる目標となっている。目指す学校像の実現に向けての中期的な目標となるように、更に検討・整理して目標の重点化・具体化を進めることが望まれる。	
重点目標達成への取組	重点目標の達成に向けた組織体制が整備され、適切に機能しているか。	学校全体のシートに基づいて委員会レベルまでシートが作成されるなど、重点目標達成のための取組が進められている。学校自己評価システムを適切に運営するため、組織間の連携を強化し、よく議論をしながら、教職員全体や学校関係者が参画するように更に工夫していただきたい。	
	方策は適切に策定され、効果的に実施されているか。	学校全体で取り組む「朝読書」や「授業5原則」、授業アンケートの活用など課題の解決に向けた様々な取組が軌道に乗って成果も見えつつある。評価指標に定量的な指標を用いるなど、教職員間で目標の達成イメージを共有できるものとして工夫されている。	
	校長の的確なリーダーシップの下、教職員が共通理解を深めながら組織的に取り組んでいるか。	校長が学校の現状や課題を踏まえた明確な学校経営の方針を持ち、意向を教職員に示し共通理解を図りながら、生徒の活躍の場を増やすための「アドミッションスタッフ」の立ち上げなど、様々な取組が実施されている。教職員一人一人を的確に生かし、組織力を高めようとする校長の意欲が感じられた。更に共通理解を深め、目標の達成を目指すことが期待される。	
	学校関係者評価等を踏まえて、達成状況や課題を検証し、取組の改善・更新が行われているか。	学校関係者の意見やアンケート結果を教職員や保護者に示し、達成状況や取り組むべき課題の共通理解を図っている。アンケート内容を更に工夫するとともに、結果を丁寧に分析・考察してエビデンス（根拠データ）を導き出すなど有効活用し、学校関係者の意見も踏まえながら、次年度のより具体的な学校全体の取組につなげるようにしていただきたい。	
特記事項			